

例会報告

第2438回例会報告議事録

日時 28年7月12日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ビジター：柏南RC 永見忠士様

ゲスト：第10分区ガバナー補佐 石戸卓志様
第10分区ガバナー補佐幹事 荻野 勝様

S.A.A.: 渡邊会員

会長挨拶

鈴木会長



瀧日先輩から引き継ぎまして、私共の年度になりました。

先日、今井会員のご苦勞によりまして、2泊3日で函館の方にツアーに行きまして参りました。9名の侍たちがゴルフクラブで武者修行をして参りました。新しい一年のスタート台に立ったような気がしています。

一年があつという間に去って、京葉銀行の菅谷さんの転勤があつたり、後ほど理事会でお二人の方の退会を承認せざるを得ない状況ですが、今年度、2016-2017年のジョン F. ジャームRI会長は「人類に奉仕するロータリー」というテーマを掲げ、奉仕というのは私たちが集う一番の目標だとおっしゃっています。国際奉仕、社会奉仕等ありますが、私たちが一番身近で出来る奉仕はおそらく地域に対する貢献、社会奉仕だと思います。

我がクラブはここ数年、社会奉仕を行っておらず、瀧日先輩が先日会長を終える時に、ぜひ社会奉仕をやってほしいとおっしゃっていました。

私たち我孫子ロータリークラブの50年の歴史の中には、燦然とした奉仕の事実があります。星野先生のフィリピンでの医療奉仕や、井上先生のスリランカでの学校建設のためのマッチング・グラントを使った奉仕など、先達たちのスピリットを私たちはよく知っています。

「入って学び、出て(いでて)奉仕せよ」という言葉は、私がロータリーで学んだ好きな言葉です。クラブに入って学び、クラブを出て、職場に戻り奉仕せよ、という意味です。ロータリーを的確に短く表現した言葉だと思っています。

会社をうまく経営することも大事ですが、それ以上に、人のためにお金をどう使うか、ということが私たちの一番大事なところではないかと思っています。

2度目の会長をおおせつかり、一年間大変かなと思う思いもありますが、これを楽しみに、いい汗をかいて、みんな笑顔で「いい仕事ができだね」と言える一年にしたいと思っています。

退会のご挨拶

菅谷会員



貴重なお時間を頂きましてすみません。当行の定例の人事異動が6月末にありまして、湖北台支店から千葉市花見川区のこてはし台支店に転勤になりました。

2年間という短い期間ではありましたが、例会、家族例会、親睦活動、また50周年の記念事業にも参加させていただき、皆様の教えとロータリーの考え方は非常に勉強になりました。教えて頂いたことを、今後の仕事や私生活で参考にしながら頑張っていきたいと思っています。本当にお世話になりました。

どうもありがとうございます。

入会のご挨拶

伊東会員



今回の人事異動で京葉銀行の船橋駅前支店から参りました伊東と申します。どうぞよろしくお願いいたします。我孫子市内の支店は初めてでございますが、まずは地域に慣れて、皆様と共に、菅谷に負けないように頑張りたいと思っています。ご指導の方をよろしくお願いいたします。

親睦委員会報告

村越委員長



今年度、親睦委員長を勤めさせていただきます村越でございます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

7月のお誕生日は志賀会員、木村会員、澁谷会員、鎌田会員です。おめでとうございます。



鎌田会員より

お誕生日のお祝い、ありがとうございます。けっこういい年なので、本当の年は言いません。皆さんにお祝いしていただいて、すごく嬉しいです。うちの方では何月かもわかっていないんじゃないかというくらい、ほっておかれていますので、本当に心に沁みます。ありがとうございます。今年一年頑張りますので、どうぞよろしく願います。

出席報告

鎌田委員長

15名出席(全員で22名) 出席率68.18%

クラブ管理運営委員会報告

荒井委員長



今年度クラブ管理運営委員長を勤めさせていただきます荒井です。一年間よろしく願います。

皆さんにお願いがあります。まずは卓話です。プログラム委員長の依田会員より皆様におかしに行きますので、予定を入れていただきますようお願い致します。外部卓話も皆さんの人脈を生かしていただき、たくさん外部卓話を行いたいと思います。

会長から了承いただいたのですが、今年度から、例会の時間が余ってしまったとき等に3分間スピーチを行いたいと思います。内容はなんでもけっこうです。皆さん、持ちネタをいつもポケットにふたつくらい入れておいていただければと思います。よろしく願います。

ご挨拶

第10分区ガバナー補佐 石戸卓志様



今年度、ガバナー補佐の当番になりました東クラブの石戸といいます。今日は年度初めということでご挨拶にうかがいました。

我孫子クラブは親クラブに当たりますので、他のクラブに先駆けて最初に訪問させていただきました。

10分区のクラブはそれぞれ様々な違いがありますが、前任の榊さんが交代の頃に、我孫子クラブは品格のあるクラブだとおっしゃっていました。他のクラブは世代交代がかなり進んでおり、普通の、人間を育てるロータリーでは人が集まらない状況になってきています。私も昭和の時代に入ったものですから、今のRIの進んでいる方向に多少なりとも不安を覚えている一人です。

7月号のガバナー月信に、RI会長テーマと青木ガバナーの行動指針が要約されています。それをご覧になっていただきたいと思います。

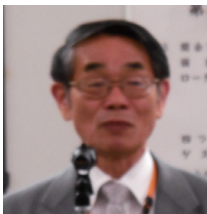
ロータリーの友の3月号にRI会長へのインタビューや国際ロータリーレポートが載っています。これを読めば、RI会長のテーマについて細かく知ることができるのではないかと思います。

今年度前半の大きな予定といたしましては、ガバナー公式訪問が9月2日に柏西クラブと2クラブ合同で行われる予定です。それについての事前確認事項の書類が送られていると思うのですが、柏西クラブと協議した上で公式訪問の2週間前までに提出するようお願い致します。

11月10日にロータリー情報研究会が行われます。入会5年未満の会員が義務出席になっています。よろしく願います。

納涼例会のお知らせ

柏南 RC 永見忠士様



今日は納涼例会のご案内に参りました。8月2日(火)6時より麗澤大学のキャンパスプラザで行います。全員景品が当たります。柏市の市長も参加されます。3名ご招待で、ビジターの方は3,000円費用がかかりますが、お受けしています。どうぞよろしく願います。

幹事報告

小池会員(代理)



- ・2016-2017年度の2790地区のホームページ開設のお知らせ受理。
- ・2016-2017年度国際ロータリー第2790地区の奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会 合同セミナー開催の案内受理。8月7日(日)開催。詳細は後日連絡します。

該当者は会長幹事、奉仕プロジェクト委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長。後ほど、幹事の方からお誘いがあると思いますので、よろしく願います。



昨年度プログラム委員長を勤めさせていただきました服部です。今日は、金沢の高校の30期後輩になります、瀧川鯉昇(たきがわりしょう)一門の瀧川鯉輪さんに落語家の世界についてお話をいただきます。

卓話

落語家 瀧川鯉輪様



落語家の瀧川鯉輪(たきがわこいりん)と申します。今日は、落語の世界やしきたりについてお話しさせていただきます。

落語の世界には厳しい身分制度があります。

まず前座からスタートして、二つ目、真打、協会幹部、ご臨終という形で出世街道を進みます。私は現在二つ目という身分です。前座から二つ目になるのに大体4、5年修行いたします。二つ目になってから10年くらいすると真打になります。落語の世界は300年と言われていますが、昔、夜興業の時に、最後にろうそくを消すのに「しんを打つ」ということで「真打」といいます。二つ目というのは出番が前座の次の二番目だからです。

前座が落語界のいろんな着物の着方、師匠の着物のたたみ方等を学ぶために、寄席というところが都内に何軒かございます。新宿末廣亭、浅草演芸ホール、池袋演芸場、上野鈴木本などです。前座になりますと、そこに基本的に毎日365日通います。そこで真打の方々にお茶出しをしたり、着物をたたんだり、着付けをしたりいたします。お茶を出すにしても、あたたかいお茶が好きな方、冷たいのが好きな方、薄いのが好きな方などなどいらっしゃるの、細かいところまで覚えなければなりません。要するに気働きができないと、芸人としてどうなのかということになります。着物のたたみ方も各師匠によって違います。大きいカバンに入りやすいように大きめにたたみたい方、小さくたたんで持ちやすくしたい方、いろいろいらっしゃいます。寄せに出ている師匠はだいたい200人くらいいるのですが、一人一人の好みを知らなければなりません。

落語家のイメージとして、住み込みで修行するというイメージをお持ちだと思うのですが、それは昔の話でございませぬ。なぜかと申しますと、師匠方のお住まいが一軒家からマンションに変わり、また、落語家を志願している我々の世代が他人の家に入り込んで家に馴染むことができない人間が増えているためです。99%が住み込みではなく通いに変わっています。

僕の師匠は瀧川鯉昇(たきがわりしょう)という者ですが、春風亭柳昇(しゅんぷうていりゅうしょう)という師匠の弟子でした。春風亭柳昇師匠は、新しく笑点の司会になりました春風亭昇太師匠の師匠でもあったので、私の師匠は昇太師匠と兄弟弟子です。

前座というのは、楽屋で、一門の師匠だけでなく、全員の師匠のお世話をします。今、寄席以外でも落語をするのですが、真打の師匠は楽屋の手伝いのために、一門の弟子以外でも気のきく前座さんを引っ張ってきます。つまり、気働きができる人でないと、寄席以外で仕事をもらえないわけです。

師匠によっては弟子を一切とらない方、逆に弟子がたくさんほしいという方もいらっしゃいます。僕の師匠は弟子が多い方で、15人弟子がおります。瀧川鯉昇がなぜこんなに弟子を取ったかといいますと、春風亭柳昇の、兵隊は多い方がいいという哲学を受け継いだからだそうです。春風亭柳昇は実際、戦地に出向いておりますので、数打ち当たるみたいな思想が鯉昇に引き継がれている訳です。

師匠によって全く違います。やさしい師匠もいれば、厳しい師匠もいます。普通は毎日師匠の家に掃除や朝食を作りに行ったりするのですが、僕の師匠の鯉昇は好き勝手にやってくれ、一切来なくていいという師匠です。これも春風亭柳昇師匠が、ご飯を作ったり、掃除をするよりも、本を読んだり、映画を見たり、知識を高めて行く方が落語をするにはいいだろう、自分の時間は自由に使えるという考えだったからだそうです。

落語界に入る時に、師匠選びというのは非常にむずかしいところです。

稽古は、昔は三遍稽古といまして、一対一で正座をして口伝で教えていました。弟子は必死になって覚えなさいといけませんでしたが、今はだいたいの稽古は録音で覚えます。覚えて、師匠に見ていただく形です。初めの方に習う話は一語一句同じように覚えますが、それを10席、20席覚えて行くうちに少しずつオリジナルなものを作っていきます。

落語には古典落語と新作落語がありますが、新作落語で有名なのが桂三枝師匠や、ためしてガッテンの志の輔師匠です。(次ページへ続く)

基本的には前座の初期段階では一語一句覚えて行きますが、10席、20席、100席になりますと自分でアレンジを加えてもいいということになっています。

古典落語の席数をふやすということは商売道具を増やすということなのですが、師匠は決して僕らからお金を取りません。なぜかというと、師匠もかつてはただで先輩から教わったからです。こうやって古典落語は受け継がれています。

初めの10席は俺に習えという師匠もいれば、最初からいろんな師匠に習った方がいいという師匠もいます。俺とそっくりになれ、という師匠もいれば、むしろ俺の所に習いに来るなという師匠もいます。独特の面白さの場合は、天性のおもしろさを「ふら」というのですが、それは学びきれないので、むしろ俺の所にくるよりも他でいろんな個性を学んでこいという師匠もいます。

名前を継ぐ場合は、ご親族やいろんな関係者の同意を得られないとできません。そこらへんも大事になってきます。

落語界は食うに困らない世界です。先輩が心配して食べに行こうと言った時は後輩は絶対に出すことはありません。金銭的に食いつぶされる可能性はありますが、食糧的に食いつぶされることはありません。こういう人情の世界です。

ご清聴ありがとうございました。

閉会の挨拶

鈴木会長

服部さん、素晴らしいゲストをありがとうございました。また何かの機会に続きを企画してください。我孫子ロータリーは人数が少なくて貧乏ですが食事くらいはなんとでもなりますので(笑)。ピジターの皆様もありがとうございました。この後、理事会を早く持ちたいと思います。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
第10分区 ガバナー補佐 石戸卓志様		10,000円
鈴木会長	北海道旅行よい旅となりました。	2,000円
伊東会員	これからよろしくお願い致します。	1,000円
今井会員	先日、友志の皆様と函館に行って来ました。	2,000円
鎌田会員	誕生日祝いただき、ありがとうございます。	1,000円
小池会員	RC有志で函館ゴルフツアーに行って参りました。 2日目優勝でした。	2,000円
佐藤会員	高校野球予選(神宮)孫5打数3安打の快挙。	1,000円
瀧日会員	有志の会 北海道ゴルフで優勝、準優勝しました。	2,000円
菅谷会員	2年間大変お世話になりました。	1,000円
服部会員	瀧川鯉輪さんを今後ともよろしくお願い致します。	1,000円
村越会員	親睦委員長として1年間よろしくお願い致します。	1,000円
友志会	友志会ゴルフコンペでニアピン該当者無しの為、寄付します。	2,000円
	当日計	26,000円
	今期累計	26,000円

今週の表紙「布施弁天 本堂」 柏市布施1738番地

地元で「布施の弁天さま」と親しまれている「紅龍山 布施弁天 東海寺」の本堂は数度の戦火により消失しましたが、本尊弁財天を篤信していた時の領主本多豊前守が98名の大名から寄進を求めて、享保2年（1717年）に現本堂を完成させました。本堂内陣の天井にはそれら諸大名の家紋が描かれています。平成18年に本堂・楼門・鐘楼が千葉県重要文化財に指定されています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。